発行　登別町役場企画調査課　　印刷　北海印刷株式会社

広報のぼりべつ

新春を迎えて

明るく住みよい都市建設に努力

町民のみなさま、あけましておめでとうございます。

みなさまと共に、輝かしい昭和四十三年の新春をお祝いできますことを、心からうれしく存じます。

今年は、開道百年目に当りますが、登別町も明治二年八月十五日、幌別郡が置かれ、ここに始めて「村」が誕生したのでありますが、これから数えて一世紀、記念すべき開基百年を迎えたのであります。

この意義ある年にあたり、しかも開町二世紀への第一歩を踏み出した躍進登別町の未来に思いを馳せますとき、限りない希望と期待を禁じ得ません。

今ここに、百年の歴史を顧りみその歴史と共に、幾多先人が残した偉大な足跡を銘記しながら、郷土発展のために努力する決意でおります。

わたくしは、昨年四月の町長選挙において、四万町民の絶大なるご支持によりまして、無競争当選の栄與に浴し、向う四年間の町政を担当することになったのでありますが、早くもここに二年目の年を迎え、躍進するわが町の当面する諸問題の解決と将来の限りなき発展に思いをいたしますとき、その責務の重要性をあらためて認識し、町政に対処する決意を一層新たにする次第であります。

わたくしは、町長に就任するに際しまして掲げました「明るく住みよい大登別の都市建設」「住民意の尊重を町政の柱とする」この二大公約のもとに、五つの政策をもって、任期間の町政を強力に推進いたすべく所信を明らかにしたのでありますが、町政の進展に即応した懸案事項の早期完成と、住民の意志を尊重した、いわゆるキメのこまかい福祉増進のため、最大の努力を傾注してまいりたいと思うものであります。

昨年は、稀にみる好天で、これという災害もなく、また経済界も比較的好況でありましたため、町政も順調に進展し、平和な一年を過ごすことができました。これも町民のみなさんのいつに変らぬ愛町精神に起因するものでありまして、ここに心から敬意を表するものであります。

希望と期待に満ちた新らしい昭和四十三年を迎えるにあたり、町民のみなさまにおかれましては、郷土の建設は、全町民共通の責任ある務めとご認識くださいまして、一層のご協力を願ってやみません。

わたくしも、町政執行の責任者として、明るく住みよい大登別市建設のため、最大の努力を尽し、この重責を全うしてまいりたいと存じます。

今年も昨年に増して、平和な年であり、そして四万二千町民の一人一人が、健康で幸福でありますことを念願し、郷土登別の限りない発展をみなさまと共に心から祈念して、年頭のご挨拶といたします。

町長　高田忠雄

町民の皆様に謹しんで新年の ごあいさつを申しあげます

登別町役場
町長　高田忠雄
助役　田村仙一郎
収入役　八十嶋武雄
総務部長　山下文雄
民生部長　大笹繁
開発部長　中浜元三郎
外職員一同

登別町議会
議長　南邦夫
副議長　河野敏文

登別町消防本部
消防長　小野寺勇

登別町教育委員会
委員長　中川原豊
教育長　柳沼高杉

登別町監査委員
委員　中村良治
委員　室久吉

登別町選挙管理委員会
委員長　森口讓

登別町農業委員会
委員長　三浦守治

登別町国民健康保険運営協議会
会長　上村秀雄

登別町固定資産評価審査委員会
委員長　三好秀一

登別町公平委員会
委員長　井上晴夫

登別町観光事業運営委員会
委員長　南邦夫

登別町総合開発計画審議会
会長　伊藤森右衛門

□年のあゆみ

進みゆく街づくり

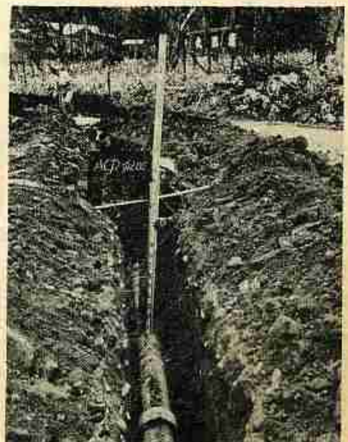
登別町は、みなさんの力強いご努力によって町政は順調に進展し、各事業も、町民の一致したご協力によって力づよく推し進めています。

教育、土木、福祉、水道など、各般にわたって町民の生活環境の整備、向上、福祉の増進のため多くの工事がおこなわれています。

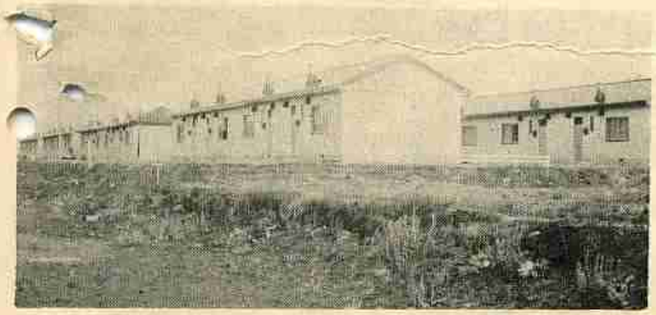
すでに完成したものや、現在急ピッチで工事がおこなわれているものなど、主な事業を写真でお知らせします。

鷲別中学校増築工事　竣工 42年12月22日　工費 3,352万円

塵芥収集車　購入 42年12月1日　価額 240万円

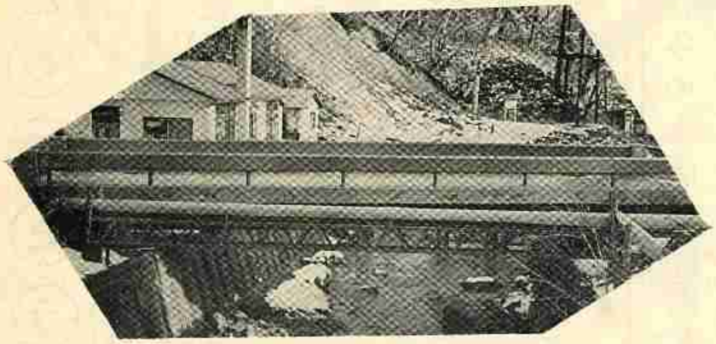


配水管布施工事および改良工事　工費 三五一万円



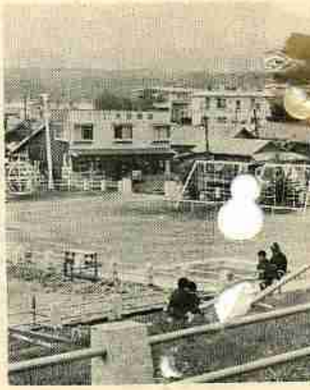
公営住宅新築工事（紅葉谷団地、東団地）　竣工 42年11月28日　工費 2,159万円

登別町昭和4

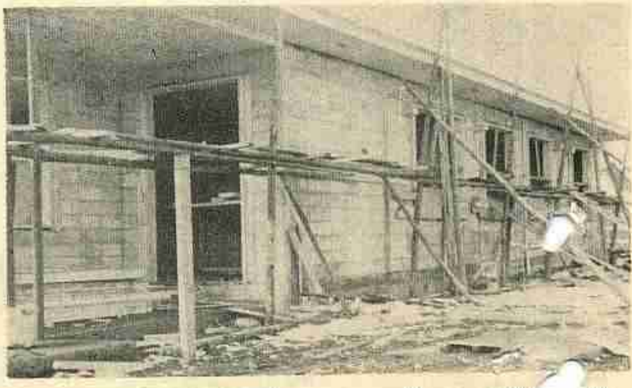


勝どきの橋架換工事　竣工　42年12月5日
工費　257万円

児童公園造成工事（緑ケ丘、東公園）
竣工　四二年一一月二〇日
工費　一二三〇万円



登別温泉通学道路
1号線災害復旧工事　竣工　42年11月15日
工費　108万円



上鷲別保育所新築工事　竣工　42年1[illegible]2日
工費　729万円

中央通り舗装工事　竣工　42年12月20日
工費　1,987万円

登別地区第3工区
排水路工事　竣工　42年11月9日
工費　305万円

おめでとう はたちの春

一月十五日は「成人の日」です。ことし該当になる八百三十二人をお招きして、みなさんをお祝いする成人式と成人祭を次のようにおこないます。

該当する方は是非参加してください。

該当者

昭和二十二年一月十六日から二十三年一月十五日までに出生した方で、登別町民であること。

日　時

昭和四十三年一月十五日午前十時より

場　所

登別町中央公民館

行事内容

㈠講　演
- ・テーマ　新しい成人に期待する
- ・講　師　北海道青少年対策事務局長　直木　通

㈡体験発表
- ・テーマ　新しい成人の町づくりに果す役割について。
- ・発表者　登別町長　高田　忠雄
　登別町教育委員長　中川原　豊
　登婦連協会長　高田　武子
　登青連協会長　三浦　吉治

㈢話しあいコーナ
- ・話　題　自　由
- ・参加方法　希望者
- ・会　場　中央公民館和室一、二号

㈣レクリエーションコーナ
- ・フォークダンス・歌声・ゲーム
- ・会場は中央公民館二階ホール

連絡事項
- ・案内状となるハガキを持参してください。
- ・参加者は、ふだん着のまま参加すること。特に女性は、和服盛装はやめていただくことになっておりますのでご協力ください
- ・バス運行について
　温泉発八時二十分～登別発八時四十分～富浦発八時四十五分（二台）
　鷲別公民館前発八時三十分～富岸八時四十分（一台）

消防出初式は七日

恒例の消防出初式は、一月七日おこないます。

当日は、午前八時四十分、幌別西口駅前から街頭行進により消防本部前広場に集まり、九時より式典をおこなったあと、中央公民館において、消防功労者等の表彰をおこないます。

冬休みの生活は計画をたてて

規則正しい学校生活から解放されて、家庭での生活が乱れがちになりやすいものです。

この冬休みは、家庭で計画をたてて楽しい生活をしよう。

1. 家庭学習の時間

二学期の学習成績を反省して計画的な継続学習をしよう。
- 。小学生は午前十時まで
- 。中学生は午前中とし以後は自主、計画で行う。

この時間は友だちの家に行かないこと、又玄関に学習中の札をさげましょう。

2. 遊　び

家の中だけの遊びはいけません寒さにまけない健康な体にきたえよう。

3. 外出時間

外出の時は、学校で定めた服装で外出しましょう。
- 。午後四時には家に帰ろう。
- 。松の内（十二月三十一日から正月三日まで）午後四時には家に帰り、以後は近所への外出は午後九時までとします。

4. その他（家庭では）
- 。アルバイトは学校に届け出ること。
- 。子供の小づかいの正しい使い方を教える。
- 。遊び友だちに常に関心をもつ
- 。家庭ではつとめて子供と楽しく話し合う時間をつくりましょう。

成人の記念に国民年金に加入しよう

成人式を迎え、大人の仲間入りをしたみなさんには、社会人としてしなければならないいろいろなことが、待ちかまえています。

その一つに、日頃耳にされる国民年金制度があります。

みなさんの中で、すでに会社に勤めている方は厚生年金に、公務員の方は共済組合に、船員の方は船員保険というように、必ず何らかの形で年金に加入しているはずです。

政府は、国民一人一人が一つの年金に加入し、自分たちの生活の保障や老後の安定を計画して、真の福祉国家をつくり上げることを目的としています。

国民年金は、この方針にもとづいて設けられ、他の公的年金に加入していないすべての人が、加入しなければならない制度です。

これには、主に農林漁業、商業、自由業、サービス業などの組織をもたない方々が該当することになります。

これからの社会は、一人一人が老後まで自分の力で生活を維持し、国がそれに協力するというのが理想となり、子どもにたよる、他人にたよるというような人まかせの生活はまちがっています。

この国民年金には、これらに備える老令年金、思わぬ出来ごとに備え障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金などの制度も設けられしかも、かけ金の半分は国が負担してくれるという特色があります。

二十才の誕生日には、自分が何の年金に加入しているかを確認しどの年金にも加入していない方は男女を問わず、必ず国民年金に加入しましょう。

簡易保険で　町づくり

郵便局の簡易保険は、みなさんの経済生活の安定と福祉の増進に貢献しているほか、地方公共団体公益事業に融資され、町づくりに大きな役割を果しています。

当町でも二億一千九百万円が融資され、高等学校、小、中学校、公営住宅、道路、水道、清掃、観光事業などにいたるまで、住みよい町づくりに役立っています。

このように、みなさんが払い込まれたかけ金は、町民の生活向上に欠くことのできない、公共施設に使われています。

この簡易保険には、三倍を保障するクローバー保険や一枚の証書で、ご家族みんなが入れる家族保険など、いろいろな保険があります。

あなたの生活設計に、郵便局の簡易保険をおすすめしておりますので、近くの郵便局にお問合せください。

カルルス温泉に　出張診療所

カルルスの住民や浴客の健康保持を図るため、このたび、中登別三愛病院の協力で、次により出張診療をおこなうことになりました

開始日　十二月六日より
場　所　かめや旅館
診療日　毎週水曜日（午前十時より午後二時まで

美挙

（愛情銀行へ）
八田亀二郎（来馬）　一〇、〇〇〇円
コーヒーパールイ　一、一四八円
匿　名（幌別）　学用品一包

（才末衣料品拠出運動へ）
富士鉄新和会婦人部、幌別婦人会、幌別服装学院（来馬）　大坂セツ（幌別）　山根　清（来馬）　市村和子（来馬）　鈴木順二（来馬）
高橋ひで（来馬）　山本弘子（幌別）
大里　豊（来馬）　山田洋司（幌別）
水戸　広（幌別）　藤沢富野（幌別）
波多江情義（来馬）　水口竹夫（来馬）　渡辺一忠（来馬）　端野義雄（来馬）　山田卓夫（来馬）　金谷英男（来馬）　新登津町内会（川上）
匿名二十六件